

ピアサポートによる障害者就労支援

山下 浩志

(NPO法人障害者の職場参加をすすめる会事務局長)

当会の運営する対極的な活動の場

▶ 市障害者就労支援センター

- ▶ 市から運営を委託
- ▶ 公共サービス(利用者)
- ▶ 職員雇用
- ▶ 個別支援(個人情報保護)

▶ 職場参加ビューロー・世一緒

- ▶ 当会独自で設置
- ▶ 市民活動(利用者から参加者・運営者へ)
- ▶ 過渡的雇用、謝金の性格もつ手当＋ボラ
- ▶ 自助・共助(伝え合いが基本)

地理的にも密接な関係

ハローワーク、就
労支援センター



ほぼ就労支援センター経由で世一緒へ

- ▶ 世一緒を複数回利用した者100名
(就労支援センター相談者約800名)
- ▶ 就労経験者(60%)
 - ▶ 幾度も就職するが続かない
 - ▶ ずっと失業が続いている
 - ▶ 失業期間中に地域につながりたい
- ▶ 就労未経験者(40%)
 - ▶ いずれは就職したいがまだ早い
 - ▶ 就職のイメージがつかめない
 - ▶ 就職ではない形でできる仕事を見つけない

月曜午前の求人広告チェック会



どんな人たちが参加しているか

- ▶ 町工場で10年以上の就労経験者も多い
- ▶ 離職後に再就職困難で手帳を勧められる
- ▶ 環境変化で役割を奪われ別の世界に
- ▶ 焦りと無力感
- ▶ 特支学校の優等生が就職してすぐ離職
- ▶ 地域でもまれて来なかった
- ▶ 受け入れる側も障害者とつきあったことなし
- ▶ シカト・いじめへの不安や失敗恐怖
- ▶ 障害はさまざま(限定せず)
- ▶ 無職を好機に 雇用の枠外で地域・職場へ
- ▶ さまざまな他者と関わりつつ腹をくくる

重層的な就労困難性とピアサポート

就労困難・就労のイメージ未形成
→ 支援の客体だけでなく主体にもなる

- ▶ 障害に対する社会の壁（不利益・差別）
（物理的・制度的・意識的）
→ 生活、住居、介助、所得、権利擁護と出会う
- ▶ 障害により分けられてきた（関係性）
→ 障害者同士のピア、周りも含めたピアへ

ピアサポートのメニュー

世と一緒に実施するピアサポート

気軽に立ち寄って話せる場

自助

共に働いたり動きながら考え合える場

共助

さまざまな障害当事者や家族・関係者に相談できる場

異なる立場の人々が参加し地域と職場をひらきあう市民活動

三大活動

いつも立ち寄れる

当事者が当番

仕事発見
ミッション

グループワーク

当番会議

イベント参加

職場参加を語る会(センター事業)

勉強会・シンポ

個別・グループ相談

ガイダンス

セミナー

グループワークの活用

職場参加を語る会を世と一緒に

(グループ活動を通してピアサポートの大切さをつかむ)

就労支援センターでのピアサポートの導入 **公助**

本人の希望に基づき就労支援プログラムの一環として依頼

仕事発見ミッションの事業所訪問



仕事発見ミッション

- ▶ 商店街等への飛び込み訪問
- ▶ 短時間の職場体験の機会提供を打診
- ▶ 飛び込むのは本人たちがペアで
- ▶ 人見知りだから続かないと予想
- ▶ 販売でも雇用でもないので不思議
- ▶ 口下手なので相手が訊いてくれる
- ▶ まともに応対してくれるので達成感
- ▶ 40件中39件断られる
- ▶ 5年間に5000件中130件職場体験

仕事発見ミッションによる職場体験



世一緒当番

- ▶ 月～金の10:00～16:00・原則2人で当番
- ▶ 実習手当または謝金(市外の者):1日千円
- ▶ 鍵の開閉、清掃、電話応対、来客応対(説明も)、記録、事務作業、文書配達
- ▶ ボランティア、ファシリテーターがいる時も
- ▶ 就労経験ある者とない者が同数
- ▶ 口下手、読み書き・計算苦手で他者の手を
- ▶ 緘黙症の来客がよく訊いてくれた
- ▶ ハローワーク職員がむち打ちになりかけた
- ▶ 前の道を掃くがちりとりで集めない
- ▶ 当番会議ではボランティア等から苦情や批判
- ▶ 失敗し謝り、手を借りながら働く→存在アピール

来客に世一緒を説明するポスターづくり



福祉施設等にも情報提供しグループワーク



世一緒には過渡的雇用、施設には高工賃・交流

世一緒の活動でのエピソード

- ▶ 特学卒18年働き倒産後就職、続かない30代
- ▶ 特支学校高等部卒就職間もなく離職の20代
- ▶ 2人がペアでポスティング
- ▶ 30代指示に20代従わずチラシではたかれる
- ▶ 30代は先輩・後輩関係では自然と
- ▶ 20代ショックだが世一緒での反省会で話さず
- ▶ 20代が就労支援センターに相談
- ▶ センター立ち合いで2人が和解
- ▶ ピアの同質性(立場共有)と異質性(別の人生)

就労支援の現場でのエピソード

- ▶ 口数の少ない青年が職場を休む
- ▶ 休み時間に先輩社員が頭を整髪
- ▶ ハゲのように刈られ、恥ずかしく仕事に行けない
- ▶ めんどくさいを見ている気安さ、この程度はジョーク
- ▶ 本人は頑として辞める
- ▶ 自分が休んでいる間の仕事を心配
- ▶ 刈り上げた先輩社員を処分
- ▶ 社長自ら坊主頭で謝罪
- ▶ やっと職場復帰を決意、が先輩のあなを心配
- ▶ 共に働く職場でのせめぎあい支える地域の役割

世一緒にピアサポートの効用

- ▶ 就労か福祉（医療）かの二者択一をこえる
- ▶ マイナスと思った障害が出会いを生む体験
- ▶ 分けられた焦り・排除される不安をこえて
- ▶ 地域・職場へ出て行くことの楽しみ味わう
- ▶ その後就労者36人、福祉等利用者14人
- ▶ 気軽に立ち寄れる場（障害者だけでなく）
- ▶ 駆け込み寺（就労支援センター、施設と連携）
- ▶ ピアサポートの場が地域・職場状況を浮彫りに
- ▶ 障害者同士から職場・地域のピアサポートへ

月1回の職場参加を語る会（近況報告会）



有休を取ったり、シフトをはずしたりしてくる人も

障害者から見た各場所の関係性

場所	関係	時間	立場	相手	給付金
事業所 ・職場	雇用 就労	原則 毎日	被雇用者	事業主・ 上司・同僚・客	最低賃金以上
福祉施設 等	利用	原則 毎日	利用者	指導員	内職ベース 工賃(逆に利用料)
就労支援 センター	相談	必要 に応じ	相談者	支援員	無給
世一緒	協働	希望 に応じ	参加者	サポーター ・ファシリテーター・ 地域	賃金相当(手当)・ 実費弁済(謝金)・ 内職ベース工賃・ 無給

世一緒の自助・共助を象徴するボード

090 4206-2382 090 2047 0913

仕事発見ミッション職場見学会
 希望者はここに名前を書いて下さい!!

重要
 〒207 佐敷町
 090-985-8997
 090-8819-3068

5/13(月)
 ニンゲンハウスが
 貸与する。ボ
 止める作業を行

9/28(月) タコ屋 14:00~15:00	9/24(月) カメラオンクラ 14:00~15:00
世一緒4人	世一緒2人 セター1人
黒田 杉田 山本 鈴木	山本 鈴木 山月 山月

7/17(金) 学研 付き	8/3(月) 三R三寸箸 (2トラン)
山月 65	14:00-15:00
山月 66	世一緒4人 セター1人
青木 92	山本 鈴木 杉田(センター)
山月 93	山本 鈴木
山月 94	

7/22(水) 40:ト 妻 料理 (美) 14:00-15:00
 世一緒1人 セター1人
 山本 鈴木
 山月

7/16(木) 学研 俗子 干渉	7/22(水) 40:ト 妻 料理 (美)
佐藤 50	14:00-15:00
小林 50	世一緒1人 セター1人
山本 44	山本 鈴木
鈴木 39	山月
新井 46	
佐藤 24	
山月 90	
山月 100	

7/17(金)	7/28(月)
山月 150	山月 150
山月 150	山月 131
山月 150	山月 150
山月 150	山月 150
山月 150	山月 150
山月 150	山月 150
山月 150	山月 150

これか？ほんかくてきな
 になりますあついでか
 二まめたん補を合してか
 が異かんたんはかエシな
 言て下

ミンナ、ミンナ、人
 家族 地域 食住 生活
 医療
 災害避難所一泊体験にご参加ください
 8月22日
 10月25日
 毎月10日
 毎月15日
 毎月20日
 毎月25日
 毎月30日
 毎月31日

まとめ

- ▶ 市就労支援センターと独自事業
- ▶ 公共サービス(公助)と市民活動(自助・共助)
- ▶ 参加者はほぼ就労支援センターから
- ▶ 就労経験、障害さまざまな者が無職をチャンスに
- ▶ 就労困難の奥にある社会の壁と分けられた関係
- ▶ 伝わらないから続いている事業所飛び込み訪問
- ▶ 失敗したり手を借りて存在感増す世一緒当番
- ▶ 過渡的雇用の性格もつグループワーク
- ▶ 立場の共有だけでなく異なる人生の出会いが重要
- ▶ 世一緒での衝突と就労現場・地域でのせめぎあい
- ▶ 障害者同士のピアサポートから地域のピアサポートへ